

編輯室の内外

地方主任官の要求した、道路事務簡捷の希望が一部達せられて二三の省令が公布された、従前省令の裏を潜つて認可なしに執行してゐた行爲が、公然と出来ることに爲つた位で、事務簡捷と言ふ程の大きな問題では無いが、事務取扱上府縣道が二種に分類されることゝ爲つた、是も郡制廢止のときに地方長官が無暗に府縣道を認可した罪の露れである。

その罪の露れに依つて指定された主要府縣道の名稱を卷末に附した、全部を發表する積りであつたが、紙數制限の爲に二回に亙つて連載する。

編輯子。いつも原稿と首引ばかりが能でない、ドコか閑靜な地に清遊したいと思つてゐた矢先、次田内務省土木局長、砂防工

事視察に日光に出張とのこと、乞ふて其の一行に加はつた。

泊つた先は山中の離れ家〇〇屋、靜閑なことは同地一流、併しながら旅館としての設備は餘り完全でない、設備に於ては同地旅館の中流位、待遇も亦香しからぬ、旅の慰安者——酒も不味い。

次田局長此旅館推賞の理由が判らない、編輯子其の理由の發見に一夜空想したか思ひ當ることがない、遂に不可解のまゝで豫定より一日繰上げて歸途に就いた。

車中聲を密め次田局長の曰く、あの〇〇屋には主人の妹の素的な美人がゐて、痒い所に手の届くやうに世話を焼いて呉れたので、今度も亦泊つたのであつたが、誰が手折つたか知らないが、既に他嫁の人、泊りに行くのでなかつたと、茲で一行の擔がれたことが判つた、此手に乗つて同家に泊つ

た人に、若槻首相がある、而かも同僚？の爲に書して曰く、勤儉力行養民風……と、擔がれて尙勤儉を説く、克堂首相にまで罪な仕業、女は良し等々で長崎縣知事を希望さるゝ局長、日光行き敵は長崎で討つことにする(た)

本號定價 五拾錢
一ヶ年分 金六圓

東京市麹町區大手町一丁目内務省内
發行所 社國 道路 改良 會
發行人 法人
編輯者 上山 陸 造
東京市小石川區諏訪町五十六
印刷所 常磐印刷所
印刷者 堀江 關 武